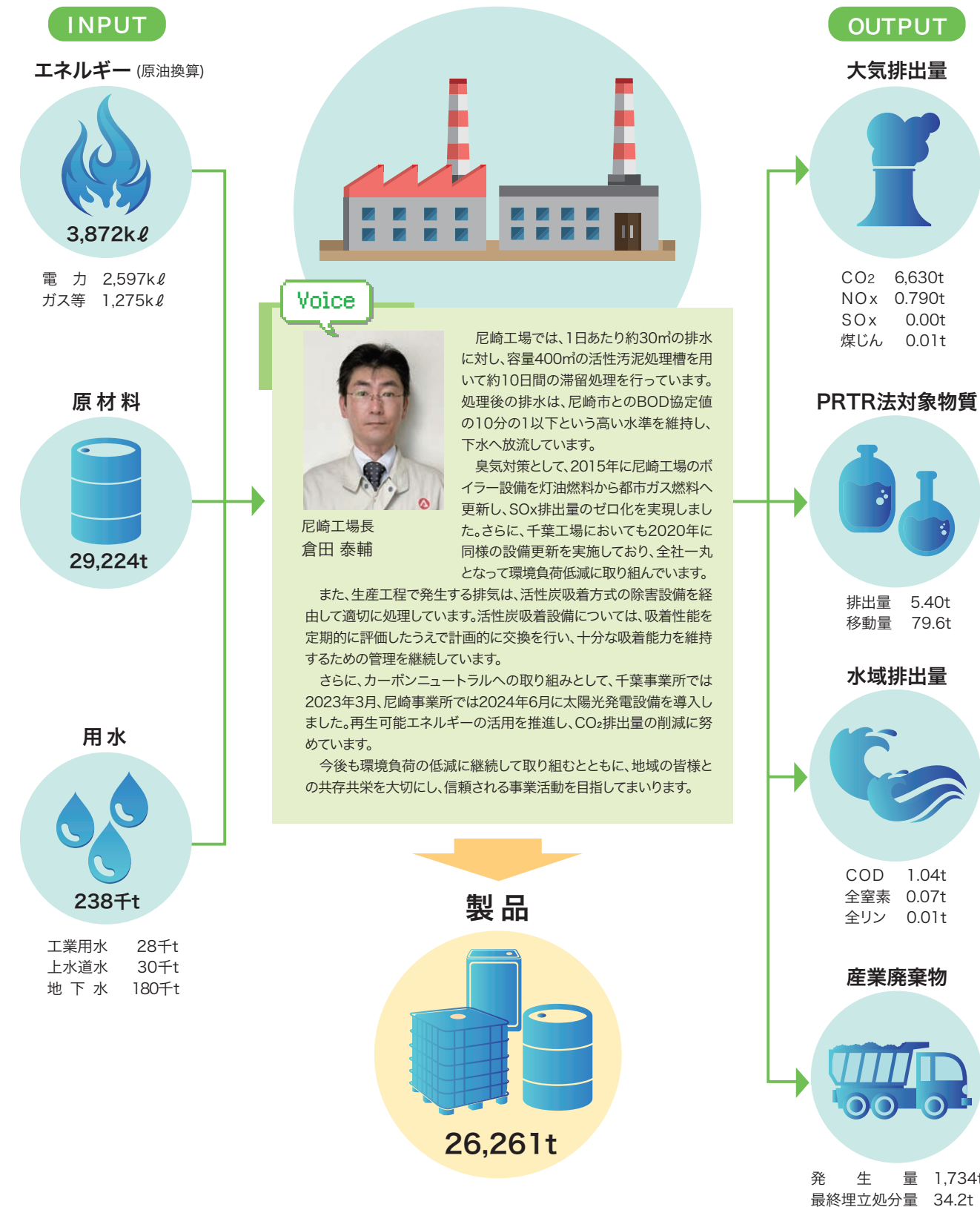




2025年度 事業活動のマテリアルバランス

神東塗料は、エネルギー原油換算3,872kℓ、原材料29,224t、用水238千tを使用し事業活動を行いました。
 尼崎工場、千葉工場の環境負荷を把握し、エネルギー使用量の削減、資源の使用量の削減や有効利用、産業廃棄物の削減、
 大気環境、水資源の保全等を推進していきます。
 また、2030年度までに電力エネルギーを100%再生エネルギー由来に切り替え、計46%のCO₂排出量の削減を計画しています。



コーティング・ケア活動

「コーティング・ケア」とは、国際塗料印刷インキ協議会 (IPPIC) が提案し、(一社)日本塗料工業会 (以後日塗工) が推進する塗料版の「レスパシブル・ケア」で、塗料における製品の開発から製造、物流、使用、廃棄に至るまでのすべての過程において、環境・安全・健康面の対策を実行し、改善を図る自主管理活動です。
 当社は、コーティング・ケアの精神に賛同し、神東塗料のすべての製品に対して、環境・安全・健康の自主管理活動を実施していくことを2002年2月1日に宣言しました。



環境マネジメントシステム (ISO 14001)

当社は、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001を2001年1月に千葉事業所、2002年1月に尼崎事業所で認証取得しました。このシステムは第三者機関により1年毎に実施される維持審査と3年毎の更新審査があり、両事業所ともに認証取得を継続しています。

	登録日	登録番号	審査機関
千葉事業所	2001年1月22日	JCQA-E-0215	日本化学キューエイ(株)
尼崎事業所	2002年1月28日	JCQA-E-0346	日本化学キューエイ(株)

外部環境審査の実施状況

2025年度	
千葉	尼崎
第8回更新後の第1回維持審査	第8回更新審査
軽欠点: 0件 改善の機会: 4件 充実点: 1件	軽欠点: 0件 改善の機会: 4件 充実点: 8件



太陽光発電

当社は環境負荷の低減と持続可能な社会の実現を目指し、太陽光発電を導入いたしました。これにより、再生可能エネルギーの活用を促進し、CO₂排出量の削減に貢献しています。千葉事業所が2023年3月より、尼崎事業所は2024年6月に稼働いたしました。当社目標は、2013年度比で2030年にCO₂を46%削減、2050年実質ゼロ・カーボンニュートラル達成です。この削減目標を達成するためのアクションプランとして、

- ①省エネ(エネルギーの使用量を減らす)
- ②創エネ(再生可能エネルギーによる自家発電でエネルギーを創る)
- ③再エネ(CO₂ゼロの再生可能エネルギーに置き換える)

これら三つの活動を柱といたしました。

今後もカーボンニュートラル達成に向け、持続的な投資を計画いたします。

神東塗料株式会社 尼崎工場

